

INGS

245A・100株

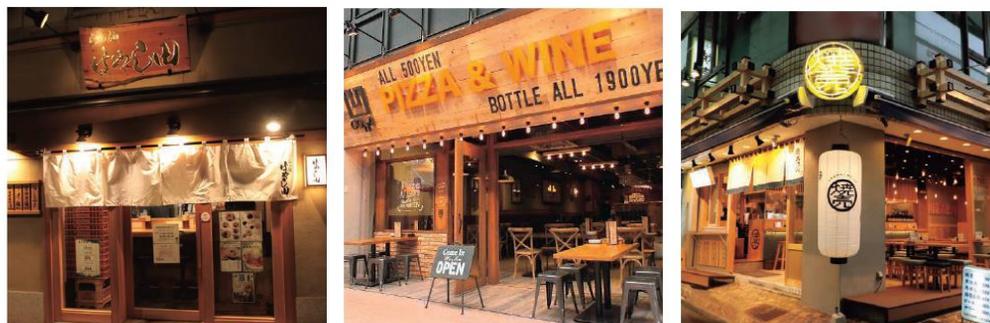
9月26日

東証グロース上場

「らぁ麺 はやし田」など飲食事業を多店舗展開

祖業のラーメン事業では「らぁ麺 はやし田」を主力に合計8ブランドを、レストラン事業ではカジュアルイタリアン「CONA」と中華系居酒屋「焼売のジョー」を、一都三県(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)を中心に展開する。

2024年7月末時点での店舗数は、ラーメン事業99店舗(うち直営店31)、レストラン事業62店舗(うち直営店31)であり、2023年8月期の売上構成はラーメン事業50.8%、レストラン事業49.2%となる。



ラーメン事業では、直営店とプロデュース店の2形態で展開しており、直営店「らぁ麺 はやし田」が2018年から3年連続で食ベログ百名店に選出されるなど、消費者から高評価を得ている点が競争力の源泉である。また、メニューは全て自社開発で、期間限定など定期的な商品開発による品質向上の継続が同社の強みだ。

プロデュース店については、直営店で磨き上げた「品質」と「商品開発力」で個人経営者を支援する。屋号を自由に決定でき、多様な指定食材の提供で独自メニュー創造を支援するなど、経営者の自由度が高いことから需要は高く、店舗数は8店舗(2019年8月期)から68店舗(2024年7月31日現在)へと急激に拡大した。

レストラン事業では、カジュアルイタリアン「CONA」と中華系居酒屋「焼売のジョー」を、直営店とライセンス店の2形態で展開する。コストパフォーマンス重視でリーズナブルな価格設定を実現し、独自のポジショニングを確立している。

ライセンス店に向けては、ライセンス貸与のほか食材や店舗運営ノウハウの提供など、オーナー負担を軽減するサポート体制で、地方展開を推進している。運営店舗数は27店舗(2019年8月期)から62店舗(2024年7月31日現在)へと拡大した。

INGS

245A・100株

9月26日

東証グロース上場

コロナ禍の時短・休業要請、三密回避に際し、個食型のラーメン事業とシェア型のレストラン事業の2事業を展開する同社では、アルコールを取り扱うシェア型のレストラン事業が大きく影響を受け、一部退店を余儀なくされた。

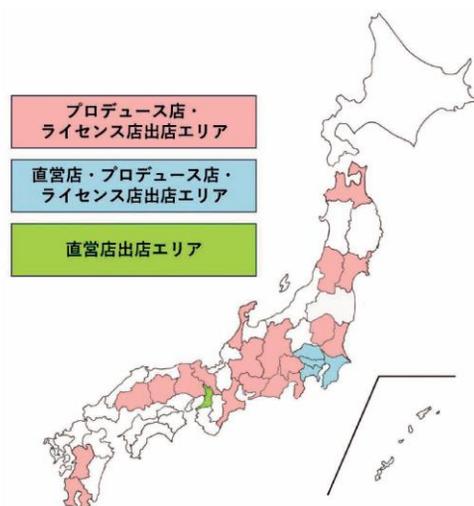
一方、個食型のラーメン事業では、コロナ禍でも新規出店を継続して個食需要を確実に捕らえ、商圈を拡大し、全体収益を補完して成長を牽引した。

出店立地最適化で効率的に需要を確保

ラーメン事業の直営店と、レストラン事業については、一都三県を中心とした都市型出店を基本に、乗降客数10万人以上の駅周辺に展開する戦略を採用している。テナント業者との関係強化のほか、同社の知名度や高品質を背景に、他社に競り勝ち好立地を獲得できる事例も多く、同社のブランド力は商圈拡大にも寄与している。

プロデュース店及びライセンス店に関しては、一都三県の乗降客数3万人以上と対象エリアを広げるほか、商圈拡大とファミリー層需要獲得を目指し、郊外型・ロードサイドの大型店舗に注力し、全国展開が進んでいる。

売上構成比は、都市型が65%、次いでロードサイドと商業施設併せて35%程度となる。顧客単価は、都市型と商業施設が1,030円、ロードサイドが1,076円となる。家族利用にともなうサイドメニュー注文等の影響で、比較的単価の高くなるロードサイド店舗拡大により、収益性の向上が見込まれる(※サイドメニューも拡充していく方針)。



INGS

245A・100株

9月26日

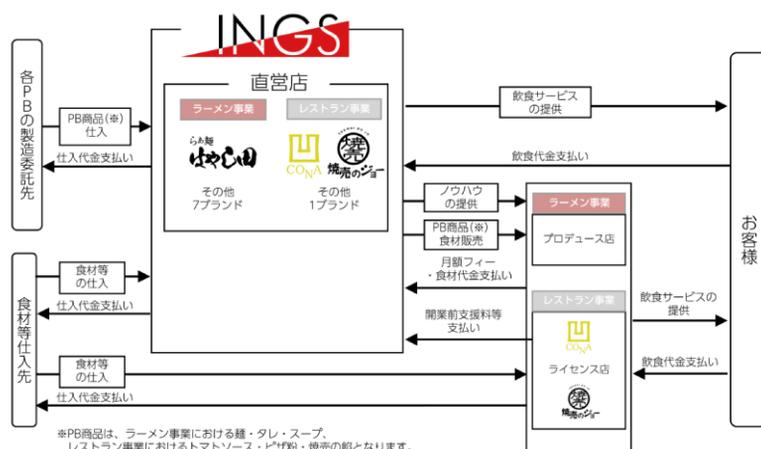
東証グロース上場

従量課金制など収益構造の多様化で 安定した収益基盤を確立する

収益源は、直営店経由とライセンス及びプロデュース店舗経由の2経路あり、売上比率は直営店86%、プロデュース店10%、ライセンス店4%となる。

直営店では、原材料高騰に伴い2024年8月期初頭にラーメン事業の主力商品を中心に約5%値上げしたが、高品質に担保されたコストパフォーマンスにより、現状の利益率は維持できると試算しており、売上面等についても業績への影響はないようだ。今後も従来通り、まずは材料分量調整やメニュー変更で対応し、必要に応じて価格改定に踏み切る方針である。

プロデュース店からは、プロデュースフィー月額5万円(税別)と指定食材売上を獲得する。ライセンス店では、開業前支援料として「CONA」から150万円を、ロイヤリティフィーとして「CONA」から月額15万円(税別)、「焼売のジョー」からは月額店舗売上の4%(税別)を売上計上する。売上に影響する品質維持等の観点から、定期訪問で指導を行うほか、業績悪化店舗に対しては新メニュー提案等でサポートする。



外国人材採用の内製化

人材不足の加速を見越し、特定技能人材の採用という新たな選択肢の定着に向け、外国人材採用担当者を起用し、内製化した。

INGS

245A・100株

9月26日

東証グロース上場

日本人材採用では、一般的に1名あたり年収の約30～40%程度のエージェントコストが発生するが、同社は直近で20名程の外国人材を自前採用しており、短期間でみても大幅なコスト削減効果を生んでいる。今後も継続的に効果を発揮していくだろう。

特定技能資格取得には高度な知識が要求されるほか、同社は独自に勉強会を開くなど、資格支援を推進しており、今後も採用枠を拡大していく。

中長期の業績見通し

ラーメンは日本の食文化として定着しており、市場調査データ「ラーメン店2023年版」(中小機構 J-Net21)では、約5割がラーメン店を今後もぜひ利用したいと回答した。2023年次報告書「訪日外国人の消費行動」(国土交通省)では、最も満足した飲食としてラーメンが3位で19.1%を占めたことから、インバウンドや海外現地展開も含め、事業拡大の余地は依然大きい。

同社はラーメン事業では、主力の「らぁ麺 はやし田」の店舗数を増やすほか、昨今外国人人気も増しつつある油そば業種でシンプルな定型業務をシステム化することで店舗運営を容易にし、新規出店を推進する。レストラン事業では、低価格でリーズナブルな路線を継続し、「焼売のジョー」を中心に全国展開を視野に入れている。

同社は首都圏好立地出店を基本方針とし、既進出エリアの好物件やロードサイド及び商業施設の大型テナント物件を獲得して売上を拡大する計画である。複数業種を展開することでカニバリゼーションリスクは減少するため、既進出エリアでの複数出店や大型テナントでの複数同時出店に向け、新規ブランド創出を鋭意模索中である。

決算期	売上高	業績推移 (百万円・%)				
		伸び率	経常利益	伸び率	純損益	伸び率
2020/8	1,985	—	96	—	21	—
2021/8	2,026	2.0%	452	370.4%	▲ 108	—
2022/8	3,489	72.2%	497	9.9%	213	—
2023/8	5,261	50.8%	265	-46.5%	68	-68.0%
2024/8予	6,405	21.7%	414	55.7%	279	309.0%
2024/5 3Q	4,709	—	316	—	215	—
予想EPS/配当		単独：114.72円/-円 ※予想EPSは上場時発行済株式数で試算				

INGS

245A・100株

9月26日
東証グロース上場

免責事項(ディスクレーマー)

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかなるを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは強く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山五丁目13番3号

株式会社フィスコ

電話:03-5774-2443(情報配信部) メールアドレス: support@fisco.co.jp